なかさと

第１８０号
発行所
新潟県中魚沼郡
中里村公民館
毎月１回１５日
定価 １部 ５円

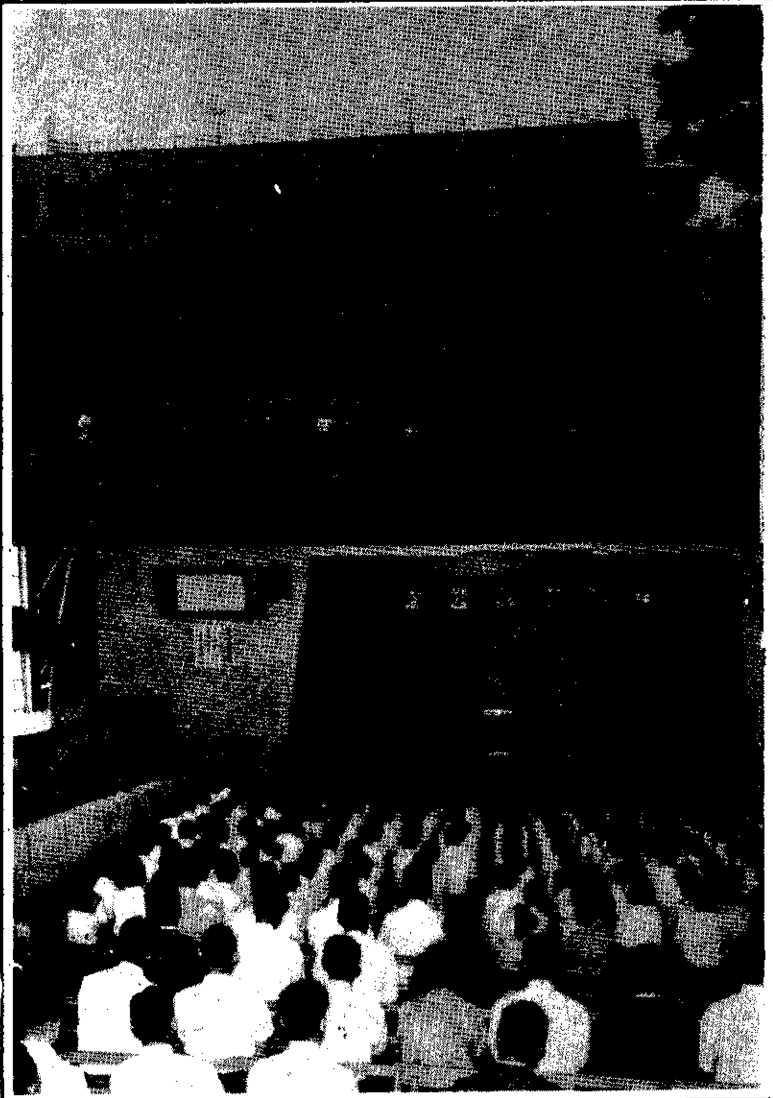
７月１日現在

人口	7,617（－ 3）
男	3,774（ 0）
女	3,843（－ 3）
世帯数	1,723（－ 6）

カッコ内は前月との比較

倉俣小学校校舎堂々完成

PTA竣工式行なう



倉俣小学校危険校舎、改築事業は昨年八月に着工され、今年三月十五日完成した。総工費三千八百二十万円で、長岡の渡長建設が請負い、一部地下、地上三階、総床面積一千六十九平方メートルの鉄筋コンクリート建校舎の第一号が誕生した訳である。地階は暖房用機械室となる予定であるが、既に配管は各階に完備されている。水洗便所や水呑場も各階に設備され、放送室、衛生室、宿直室、職員室、応接室等、管理室は一階に、二階三階は普通教室となっている。なお、各室に換気扇及び火災報知器が取り付けてあり、更に各階には、防火用自動シャッターが設備されている等、県下でも稀れにみる校舎であると高く評価されている。

去る七月二日、倉俣地区PTAは村や各関係者及び前倉俣小学校長、真貝先生等多数招き、竣工式を挙行し、村当局や学区民の協力の賜であると感謝していた。

感謝の言葉

倉俣小六年 鈴木 清

みなさん、きょうはおいそがしい所をおいでくださいまして ありがとうございます。前の真貝校長先生の努力と、みなさま方のご協力によって、三階建てのりっぱな校舎ができあがりました。

三ケ月間、新校舎に入って一番気にいったのは、校舎の中がとても明るくてきれいだったことです。それに放送室の設備が整っていたのにはびっくりしました。

ローカを見ると前とちがったしきものが、ひいてありました。教室にはかんきせんがあります。黒板は、じじゃくのつく便利なものでした。

ぼくたちは、このようなりっぱな校舎を大切に、いつまでもきれいにしておきたいと思います。

みなさま、ほんとうにありがとうございました。

歌の好きな方は 青年学級コーラス部へ

歌の好きな方は、青年学級コーラス部の「ガッコゲッコ」へどうぞ!!

自主的な行動力を養い、心身ともに健全でかつ、みんな友達になろうとしています。歌って大いに語ろうではありませんか。毎週木曜日午後八時～十時中里村公民館にておこなっています。

なお、「ガッコ、ゲッコ」主催で七月三十一日、八月一日、鯨波海岸で海水浴を兼た、キャンプを計画しています。多数ご参加下さい。

詳しくは、中里村公民館へ

おしらせ

◎脳卒中第二次検診について

去る、六月十四日から、六月三十日までの期間に亘って、村内各地区で脳卒中の第一次検診がおこなわれた訳ですが、その結果、第二次検診を受るように指示された方は、来る八月五日六日、七日と田沢中学校においておこなわれますので、出来るかぎり、都合をつけておいでください。

◎来る八月二日、田沢小学校において、子宮癌検診が、おこなわれますので、特に三十才以上の方は、受診するよう、おすゝめいたします。なお料金は百円です。

◎心配ごと相談所開設ご案内

七月三十日
八月六日、十三日、二十日、
二十七日

・開設時間
午前九時～午後四時
・開設場所
中里村公民館

開設日には、心配ごと相談員と民生委員の方が相談に応じます。

はなむけの言葉

（月刊公民館より）

宝暦のころ、美濃の藩主金森美濃守は悪政をしき、民のうらみを買いました。何回も家老をかえてみましたが、乱れた藩政をたて直すことができません。硬骨で鳴る清泰寺の仙涯和尚は

「よかろうと思う家老が悪かろう。もとの家老がやはりよかろう」

と、落首を書いて皮肉りました。怒った家老連中が、

「坊主め。ご政道を批判するとはふとどき至極！」

と、傘一本で寺を追放しました。仙涯は、すましたもので、

「傘をひろげてみれば天が下、たとえ降るともミノは頼まじ」と歌い残して、瓢然と旅へでてゆきました。

のち博多の聖福寺の名僧として、雷名をとどろかせましたが、あるとき、富豪から新築落成の宴に招かれました。

「何か新築祝いに一筆」

と、祝辞をたのまれました。仙涯は、サラサラッとなぐり書きして、

「これでよろしかろう」

主人はじめ、一座の者は顔色を変えました。

ぐるりっと家を取り巻く貧乏神、と書いてある。これでは怒るのもあたりまえです。

しかし、仙涯少しもさわがず、おもむろにタバコを一服。

「腹を立てるのははやいよ」

そういって、下の句を書きたしました。

七福神は外へ出られず

仙涯は、薫陶にも力を注ぎました。

色街通いにうつつをぬかして、いた若い弟子の湛元は、師匠の慈愛によって色道の迷いからさめました。仙涯は、湛元を京都に修行にだすことにしました。

明朝出発という晩に、湛元は師のもとに伺い

「いよいよお言葉にしたがいまして修行にまいります。お師匠さまにはなにとぞ御身大切に遊ばしますよう……」

と、別のあいさつをします。

仙涯はツと立ちあがり、竹ベラをとるや、湛元の襟くびをひきよせ、ピシッピシッと打ちつづける。

湛元は、ほうほうのていで逃げだしましたが、どうして打たれるのか、さっぱりわかりません。

そこで、隣りの寺の住職に相談しました。

「うーん、そりゃおかしいな。このあいだも、和尚はお前のことをほめていた。あれも京へ修行にいって、偉い者になって帰ってくるだろうといってな。あ・そうかわかった。お前が可愛くて、急にだしたくなくなったのだ。行くなという意味でお前を打ったのにちがいない。いくら可愛くても、そんな甘いことではいかん。よし、わしが説いてあげましょう」

その住職は、さっそく仙涯のところへきて、

「弟子を可愛がることもよいが、あんたもあんまりじゃないか。一度京の修行にだすときめたものをひきとめるとは」

すると、仙涯は、

「そうではないのだ。湛元も京で修行して帰るころには、わしよりも偉い者になっておる。そのときになぐろうと思ってもなぐれぬから、いま、なぐりじまいになぐっておいたのじゃ。あれが帰ったときには、わしがなぐられる番じゃよ」

隣室で、師匠の言葉をきいていた湛元の胸にグッと熱いものがこみあげてきました。

これ以上大きなはなむけの言葉がありましょうか。奇行百出、瓢逸な仙涯和尚の胸底には、ほのぼのとした愛情が流れていたのです。

県青年大会

中魚沼郡予選会終る

去る七月四日、田沢小学校体で、野球の県青年大会の中魚沼育館で、卓球、田沢校グランド 郡予選会が行なわれた。

この大会は、平素勤労に従事している郡内の青年が一堂に会し、スポーツを通じて友好、親善を深め、健全な郷土社会の建設に寄与し、県青年大会の趣旨に賛同するというものであり、今年で十九回目であるが中魚沼郡では、青年大会に参加しはじめて四回目である。

当日は、早朝、大雨に見舞われ、野球は出来ないかと思われたが、その後、天気が回復し無事終了した。なお、野球は川西町が一位で中越予選会に、卓球も川西町が一位、排球（津南町、津南高校が会場）は、津南町が一位でそれぞれ上位大会に出場する事になったが、中里チームはおしくも上位大会出場を逸っした。

短歌

美沙緒

梅雨明けのスポーツデーに参加
　して幼なじみと昼下に語らう
昼下りのどのかわきを充たさん
　と堀の近くに淡き虫の音
母の愛受けて育ちし我れなれば
　寸暇を吾子と遊びたわむる

沖縄帰る　山崎了

二十五余年戦領下の基地の島
　沖縄帰る今ここに

成田三里塚

大木に身を託しつつ倒れ行く
　必死の農民の抵抗哀し

「五の日」は 納税相談日

毎月五日 十五日 二十五日は「税の相談日」です。税に関しては、何んでもご相談できますから、お気軽にご相談下さい。なお、匿名でも結こうですのでどうぞ。

訂 正

館報五月号三面に、村内最年長者は、九十二才とあるは、九十四才で、如来寺の井ノ川すめさんです。訂正しておわびします。

人生往来

◎産声

氏名	父の名	部落
岡村志津子	弘美	倉俣
樋口 達之	頼一	千溝
村山 寿正	正春	宮中
松井 裕子	晋	上山
山田 和人	幸夫	上山
竹藤 知志	嘉寛	小原
服部知江美	晃雄	小原
佐藤 昌志	良永	上山

◎高砂

新郎	滝沢 明雄	（二四）	田代
新婦	田村さだ子	（二三）	長岡
新郎	山田 広一	（二六）	埼玉県
新婦	山田ケン子	（二三）	土倉
新郎	羽鳥 良成	（二〇）	埼玉県
新婦	中島 久子	（二四）	本屋敷
新郎	加藤 昇	（二九）	栃木県
新婦	南雲 久子	（二三）	堀之内

◎昇天

氏名	年令	部落
南雲 禎作	（八七）	堀之内
高橋 タイ	（八〇）	倉俣
井之川政吉	（六〇）	如来寺

老人の医療費

助成制度について

村では老人保健の向上と老人福祉の増進をはかるため、村内に住んでいる六十五才以上の老人に対し、昭和四十四年度より「老人家庭奉仕員の派遣」、昭和四十五年度より「ねたきり老人見舞金支給」「ねたきり老人特殊寝台貸与」、昭和四十六年度より「老人性白内障手術費の助成」「ねたきり老人に対する医療費の助成」を次により実施いたしております。

一、老人家庭奉仕員の派遣について

(1)該当者

老衰、心身の障害、傷病等により日常生活を営むに支障がある六十五才以上の老人で、その老人家庭が所得税を納入していなく、又、老人の世話を行うに困難な生活状況にある場合、又は単独老人世帯に派遣する。

(2)奉仕の内容

家事介護相談、助言等

(3)申請方法

定められた申請用紙により村長に派遣申請を行う

二、ねたきり老人見舞金支給について

(1)該当者

六ケ月以上寝たきりで、日常生活をするに他の人の世話を必要とする六十五才以上の老人

(2)見舞金

一ケ月千円で、八月、十二月四月に前月分までの分を支給する。

(3)申請方法

定められた用紙により、民生委員経由のうえ村長に申請する

三、ねたきり老人特殊寝台貸与について

(1)該当者

長期にわたって、ねたきりとなっている六十五才以上の老人で、その世帯が所得税を課せられていない者に対し無償で、特殊寝台を貸与する。

(2)申請方法

希望者は定められた用紙により、村長に貸与の申請をする。

四、老人性白内障手術の助成について

(1)該当者

老人性白内障に罹患し、開眼手術の可能な方で、その同居の生計中心者が所得税を課せられていない者。

(2)助成医療費

老人性白内障にかかる医療費総額から、各種保険給付を控除し老人の個人負担となる額について助成する。

(3)申請方法及び支給

イ、定められた申請用紙により、村長に申請する。

ロ、村長は手術可否について検討し申請者に通知する

ハ、申請者は医療機関で手術を受け、医療機関に支払った一部負担金の額について村が助成する。

五、ねたきり老人に対する医療費の助成について

(1)該当者

三ケ月以上ねたきりで、日常生活をするに他の人の介護を必要とする老人で、国民年金法による老令福祉年金の所得制限以下の人

(2)助成医療

本人の一部負担のうち他の法律で助成するものや附加給付を除いた金額を助成する。

(3)申請方法及び支給

イ、定められた用紙により、村長に医療証交付申請を行う。

ロ、村長は調査のうえ認定された場合は本人に「老人医療証」を交付する。

ハ、保険証、老人医療証を提示して、診療を受ける。

ニ、医療機関に一部負担金を納入して受領書をもらう。

ホ、受領書を添えて村長に請求する。

ヘ、最後に収入役室より助成金の交付を受ける。

◎なお、詳細につきましては、地区民生委員又は、役場社会課民生係にお問い合せ下さい

（電話二三〇番内線七番）

所得税の第一期分

納税期限は七月三十一日です

七月は所得税の第一期の予定納税をする月であります。

しかし、災害等の理由により、ことしの税金が通知された予定納税額より少なくなると見込まれるときは、予定納税額を減らす申請をすることができます。これを予定納税の減額申請といいます。以下本年の予定納税額の計算方法、減額申請ならびに納税に便利な振替納税等について簡単に説明します。

(1) 予定納税について

予定納税基準額は、本年五月十五日現在で確定している前年の総所得金額を基として計算されています。もっとも前年分の所得のうち総合譲渡所得、一時所得、雑所得等の所得については除いて計算し、税法改正による諸控除の引上げ、また新たに設けられた青色事業主特別経費準備金等の減税についてもおりこんで計算され基準額が二万円以上の方について通知されています。

(2) 減額申請について

次のような場合にあたるため通知された予定納税基準額よりも少なくなると見込まれるときは、予定納税額の減額申請を「七月十五日」までに税務署へ提出できます。

① 廃業、休業、転業、失業した場合。

② 災害または盗難等により資産に損害を受け所得が減少したり雑損失の控除が受けられる等の場合。

③ 多額の医療費の支出のため新たに医療費控除を受けられることになったり、また増加する場合。

④ 新たに老年者や寡婦等に該当することになった場合。

⑤ その他業況不振などのため四十六年分の所得が四十五年分の所得よりも明らかに相当少なくなると見込まれる場合

(3) 振替納税について

納税の際には預金口座から自動的に支払われる振替納税制度を利用すると手数がかからず便利です。この制度を利用すれば税務署では、税金の納付書をあなたから依頼を受けた金融機関に送り指定された預金口座から振替によって納税する方法で納期限にも遅れずに確実に納税ができます。まだ利用されてない方でご希望の方は税務署や金融機関に申込用紙が用意されていますからご相談ください。

新婚、母親学級

おこなわれる

去る七月八日、九日、中里村役場議場において、新婚母親学級がおこなわれました。

この学級は、常に正しい知識のもとに明るい家庭を築くことを目的とするというもので、役場保健課主催で例年開かれて来たが、良い家庭づくりは、夫婦が心身共に健康で正しい知識をもって生活することによってのみ、作り出されるもので、一人でも多くの受講生が参加するよう係では呼びかけ、当日は二十人近くの新婚の方、母親になられた方が出席しました。

上村病院長先生、南雲助産婦さんから、赤ちゃんの入浴、保育、家族計画、などいろいろこまかく、わかりやすく、お話をしていただきました。

中里村民大運動会

八月二十五日に実施

成人式挙行される

記念講演に

中条病院の**江里口先生**

去る七月八日、午前十時より役場議場において、中里村成人式が挙行された。

今年の成人該当者は百九名であったが、出席者は勤務などの都合で、八十名程度で、昨年並でした。真夏の成人式にふさわしく軽装の男女の熱気が、式場一杯に充ちあふれていました。

村長さんの①まず健康であれ、②礼儀正しくあれ、③恩を決して忘れるなと、この三つを強調された祝辞につづき、議会議長さん、教育委員長さんの激励があり、また成人者代表の鈴木邦俊さん（重地）の社会人としての誇りを持つと同時に、責任と義務を遂行し、地域の一員として、努力すると力強い感謝の言葉をのべ、記念品の贈呈、出席者全員で記念撮影をして、中条病院の江里口淳一郎先生の「剣道を通じての精神修養」と題しての記念講演を聞いたのち、成人を祝って、出席者全員で乾杯し、なごやかなうちにも盛大に式を終りました。

（写真、上は、藤田村長さんの激励の言葉に耳をかたむける成人者。中は、村長さんより記念品を贈られる成人代表者。下は、真夏の成人式にふさわしい装いで、記念講演に耳をかたむけている成人式を迎えた人達。）

水難防止について

増水したら早めに退避

国鉄信濃川発電所

本格的な夏を迎え、水泳や、釣りの機会が多くなり、水の犠牲者が多い季節となりました。当発電所では、水難防止に万全を期するため宮中取水ダムより小千谷発電所に至る信濃川沿岸に警報サイレンを八箇所。警告札を二十箇所設置して、水難防止に細心の注意を払っております。

次のような場合、サイレンを吹鳴し退避を警告しております

一、降雨などで、増水し、ダムから放流するとき。

二、発電所が故障のため、調整池の水を余水路から信濃川に放流するとき。

三、洪水のとき。

サイレンが吹鳴したり、増水の場合は早めに退避するようにお願いします。

・サイレンの鳴し方

一分間鳴り、十秒休み、一分間鳴り、十秒休み、一分間鳴ります。

宮中ダムより下流の方は、このサイレンの吹鳴に、ご注意下さい。

県民スポーツの日に

婦人バレーボール大会

去る七月十一日午前九時半より、田沢中学校体育館において、中里村婦人バレーボール大会が県民スポーツの日の行事として開催され、百余名の多数の参加者があり、当日の参加者を四チームに編成し、また、地域対抗戦として、倉俣、田中、千溝の三チームの対抗戦も熱のこもった接戦で、始終観客を湧し、熱戦がくりひろげられました。

県民スポーツの日は、いうまでもなく、第十九回国民体育大会の成功を永く記念するため「県民スポーツの日」を制定し、広く県民の参加を得て、スポーツを通じて、県民の体位と体力の向上をはかり、県民の生活の明朗化をはかることを趣旨として、毎年開催されるものであります。家庭の台所をあづかる主婦が寸暇を利用し、練習した成果を見ることが出来たのも、各家庭のご主人の理解があればこそ、百余名の参加者があったものと思います。今後共各行事に対し御理解と御協力をお願い致します。

中里文芸

七月投稿

大泉
湖の村のいつも片窓涼しかり

露丘
七月の湯の町リフトの錆が降る

おのえ
おそいくる灯蛾に不眠の闇の底

涼子
かぜ草の熟れ穂たぐるは模索め

深雪
ほたる草胸に灯せる何もなし

末知
脛の蚊を叩くしぐさの祖父に似ぬ

由記
今朝一つ芽生えたサボテンに水をやる

玉泉
若草の香が鎌に散る初夏の風

春柳
時鳥休耕田の空に啼く

時習
入梅や袖の中まで下る雲

ケン
風鈴のかすかな音色夢の中

海人
温泉づかれを若葉の山に過したり

梢陽
待つ我が罪かも知れぬ夕風鈴

勝
病む母の瓜また伸びて梅雨しとど